

県P連だより

広島県PTA連合会



No.58

会長あいさつ

広島県PTA連合会
会長

山本 浩司

日頃より、広島県PTA連合会へのご理解とご協力を頂きまして厚くお礼申し上げます。
この度、令和元年度総会において、会長を拝命いたしました、山本浩司と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

まず初めに、昨年7月、西日本豪雨災害により広島県に大きな被害がおきました。犠牲になられましたPTA会員・児童に対し、お悔み申し上げますと共に、被災されました方々にお見舞い申し上げます。

さて、令和元年度広島県PTA連合会も新たな体制でスタートいたしました。本年度のスローガンは「成長しよう 子どもと共に つないでいこう親子の絆」です。

多くの先輩諸兄のご努力により立ち上げられましたPTA組織は「全ては子どもたちの幸せのために」の理念のもとに、それぞれの時代に応じた活動を通じて子どもたちを守り・支えてまいりました。

PTAは保護者が主となって子どもを中心に、家庭・学校・地域を活性化させる役割を担っています。「子どもたちのために」を大前提として活動していますが、保護者が人とのつながりや地域とのつながりをもって保護者自身を成長させることができる場でもあります。

近年、人口減少と少子高齢化に伴い、家族形態の変化や価値観・ライフスタイルの多様化とも相まって、PTA不要論、未加入問題などPTAに関わる問題や社会全体の規範意識の低下などもメディアで話題に上ることが多くなってきました。

現代社会において希薄になりつつある他者との絆・つながりを、大人たち一人ひとりが再認識し、人として生きていくうえで極めて大切な絆やつながりといったものを子ども達にいかにつないでいくか、何時の世も、子どもは親の背中を見て育っていきます。PTAの存在意義と果たすべき責任と役割は、より一層必要不可欠なものとなっております。

今後もPTA活動の充実・発展のために、皆さま方のご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

おわりに、各単位PTAをはじめ、それぞれの地域のPTA活動が、益々盛んになりますことをご祈念申し上げまして、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

役職名	名 前	所属都市P	所属学校	委員会
会 長	山本 浩司	呉市	横路小	
副会長	山田 洋子	大竹市	小方中	広報委員会委員長
副会長	坂田 美穂	廿日市市	宮島中	総務委員会副委員長
副会長	佐々木健作	東広島市	安芸津中	総務委員会委員長
副会長	花田 章浩	三原市	沼田東小	教育研修委員会副委員長
副会長	藤井 裕久	福山市	深津小	教育研修委員会委員長
会 計	高橋 友香	福山市	大門中	広報委員会副委員長
理 事	越野 竜	江田島市	江田島中	総務委員
理 事	田房さおり	豊田・竹原	大崎上島中	教育研修委員
理 事	西山 優	安芸郡	府中中	総務委員
理 事	前田 美保	東広島市	高屋中	教育研修委員
理 事	大番 隆行	安芸高田市	高宮中	広報委員
理 事	片桐 裕子	山県郡	芸北小	広報委員
理 事	高橋 武也	尾道市	西藤小	総務委員
理 事	鈴木真理亜	世羅郡	甲山中	総務委員
理 事	岡 正明	府中市	府中明郷学園	広報委員
理 事	岩本 義樹	神石郡	神石小	教育研修委員
理 事	平岡 洋介	庄原市	山内小	教育研修委員
理 事	竹澤 恵	三次市	三和小	広報委員
監 事	穴戸 勇二	呉市	呉中央小	
監 事	道城 俊二	福山市	川口小	
監 事	二山 義夫	安芸高田市	八千代中	

令和元年度
広島県PTA連合会

新役員決定



令和元年度 定例総会

令和元年度定例総会が6月7日（金）にホテル広島ガーデンパレスで行われました。

当日は朝から大雨で交通機関にも影響が出ていましたが、午後からは天候も回復に向かうとの情報もありましたので定刻通りの開催となりました。広島県議会議員の鷹廣 純様、広島県教育委員会教育長の平川 理恵様をはじめ、多数の来賓の皆さまにご臨席いただきました。

本年度は広島県PTA連合会創立70周年にあたり、創立70周年記念表彰状贈呈では特別表彰9名、個人の部29名、団体の部8団体が表彰されました。

総会議事では議長、副議長をはじめ、代議員の皆さまにもご協力をいただき、スムーズな議事進行となりました。

新役員挨拶では本年度から新たに就任された山本浩司新会長が挨拶されました。また各都市選出の理事も半数以上が新理事となり、令和元年度の活動がスタートします。各都市の理事の意見を反映しながら本年度も活動していければと思いますので、よろしく願い致します。

退任役員感謝状贈呈・挨拶では前会長の犬塚 佐知恵様、前副会長の今山 麻紀様、前会計の花谷 浩幸様にご挨拶いただきました。旧役員の皆さまには広島県PTA連合会に多大な協力をいただき、ありがとうございます。大変お疲れ様でした。素晴らしい先輩方に負けないように活動していきたいと思っています。



(広島県P連副会長 藤井 裕久)

全小・中学校PTA会長研修会報告

広島県教育委員会教育長 平川理恵氏にご多忙の中お越し頂き、ご自身がPTA会長を務めていた時の経験を元に『大人も「学びの变革」～誰もが参加したくなるPTA革命～』という演題で講演をいただきました。

会長としてまず「出来る時に出来ることを only for kids」を理念とされ、5つの基本方針を立てられたそうです。

1. 子供の安心安全に関わる活動は続ける（交通安全・パトロール等）。
2. 校外とかかわる活動は続ける（役割分担を見直し、役員負担の軽減）。
3. 大人だけの活動は自主運営を基本とする。
4. 業務量の平準化を目指す（極力役職等による不公平感をなくす）。
5. 活動余力を生み出し、子供たちにとって必要な活動をその都度考え実現する（新しい活動を立ち上げるため定常業務をスリム化する）。

例えば、会議の茶菓子を廃止、複数の広報誌を一本化等により余剰経費を生み出し、図書購入などに充てることができたそうです。

本当に必要な物を見極め、同様なものは集約、足りないものを新設等の改善を行ったそうです。その甲斐あって、1年後の役員選挙では前年度あればど不人気であった役員・委員が大人気となり、みんなが「やりたい！」と手を挙げるほどになったそうです。まさに、「誰もが参加したくなるPTA」の実現でした。

また、全国的な状況を見ると「PTA廃止」などを行った学校もあるそうですが、必ずPTAが復活しているそうです。結局はPTAは絶対に必要なものとおっしゃっていました。どうせやるなら、仕方なくやるより子供たちに本当に必要な事を考えながら、前向きに「できること」から始めることで充実した活動ができ、子供たちの幸せにつながります。

PTA活動は、子供が在学中の数年しか経験できない貴重な体験です。各单位PTAに戻られたら、早速「できること」から始めていきましょう。子供たちの輝く未来、幸せのために。



(広島県P連副会長 坂田 美穂)

分科会報告

広島県教育委員会平川理恵教育長の講演の後、小学校と中学校のそれぞれの部屋に分かれ、中学校は4つ、小学校は6つ、計10の分科会が開催されました。

各分科会の中で5人～8人のグループを作り、グルーブトークを行いました。まずは、進行係と記録係を決めました。みなさん初対面で戸惑いを隠せない表情でしたが、さすがはPTA会長のみなさんです。どのグループもすぐに係を決めていました。自己紹介に続き、本日の講演の感想、学校や家庭、我が子のこと、PTA活動の内容や問題など様々な話し合いをしました。初めは緊張もありひそひそと始まった会場でしたが、15分経った頃からどのグループも打ち解け始め、更に30分経った頃には他のグループの笑い声が聞こえるほど、盛り上がりっていました。終了時間となり、司会者のアナウンスやアンケートを記入する間も話が止まらず、最後の最後まで盛り上がりっていました。

この分科会でお互いの学校スタイルや規模の違い、生徒児童数やPTA会員数の違いの中、学校行事、PTA会長の決め方、PTA活動の内容など様々な意見交換ができ、みなさん貴重な時間になったと思います。今後のPTA活動に活かし、活躍できると思います。



(広島県P連理事 岩本 義樹)

研修会アンケート結果

講演会に参加された307名中196名の方にアンケートの提出をいただきました。

講演会については、96%の方が「良かった」「参考になった」と回答され、分科会についても94%の方が「良かった」「参考になった」と回答してくださいました。このアンケートに回答くださった声の中から、いくつかをご紹介します。

(講演会)

- ・今回の講演内容を聞いて自校で取り入れられることは実施しようと思った。
- ・身近な内容だしすぐにでも実践できそうなことなのでとても為になった。
- ・講演内容が良く、他の一般の会員にも聞いてもらいたい。
- ・PTA改革を少し考えてみたい。
- ・PTA会員に「当事者意識」を持たせることが重要だと思う。そのために平川さんのような人にどんどん講演して欲しいと思う。
- ・PTAの仕事の「見える化」はとても大切だと思った。

(分科会)

- ・他校、他地区のPTA活動の状況や悩み事が聞けて楽しく為にもなる有意義な時間を過ごせた。
- ・他の学校のPTAの方と話す事が出来て、色々な悩みの中ご苦労されているのが分かった。
- ・他校のPTA会長の悩みや問題が聞ける機会がもっと多いと良いと思う。
- ・分科会への参加で、悩んでいる内容に共感して頂けたりアドバイスを頂け、心、体ともにすごく楽になった。
- ・今後のPTA活動に役立つ話が聞けた。分科会でも素晴らしい話が聞け、次に自分のやるべきことを見つけれれた。
- ・分科会でテーマが決まっていれば話しやすかった(2)。
- ・分科会の時間が短い。もう少し時間をかけてPTAの話がしたかった。



国内研修事業に 参加して

主催 (公社)日本PTA全国協議会
期日 平成31年3月27日～31日
場所 沖縄県渡嘉敷島

心の温まる渡嘉敷島の人々

竹原市立竹原中学校 渡邊 海集

僕がこの研修旅行に行きたいと思ったのは、全国のいろんな人と友だちになれ、渡嘉敷島と言う素晴らしい島に行ってみようと思ったのが理由です。

一日目は、初めて一人で県外に行くことや初めて乗る飛行機がどんな感じなのか、とても不安でいっぱいでした。しかし沖縄に着くと、いろんな中学生と出会い、班のみんなとも無事合流できました。

二日目は平和学習で、渡嘉敷島で起きた空爆の恐ろしさを知りました。昼からは、今までで一番きれいな海でカヌー体験やシュノーケリングを行いました。

三日目は、村内散策で阿波連集落を訪れ、いろんなスポットに行き、渡嘉敷島に住みたいと思いました。ワークショップでは沖縄のエイサーを体験し、とても心に残りました。

四日目には、戦争の話で一番大切なことや渡嘉敷の歴史を歌にまとめ、渡嘉敷村の方々に作った歌をメッセージとして歌いました。

この研修で心に残ったことは、素晴らしいさんごの海や一人一人の心の温かさなど、渡嘉敷の全てです。海で見たさんご礁や海岸のきれいに、僕はすばらしいと思いました。渡嘉敷の方々はとても優しく、僕ら研修生に声をかけてくれました。

僕が住む近く、瀬戸内海では海岸が汚れているときがよくあります。渡嘉敷村の方は昔の先祖の方々が大切にしてきたから、今のきれいな海があると言っていたので、地元で海岸掃除のボランティア活動に参加しようと思います。また、渡嘉敷の海をもう一度見てみたいと思いました。僕はこの研修に参加できて、とてもよかったと思いました。ありがとうございました。



出逢いは奇跡を導く

三原市立本郷中学校 田原 佳奈

「バイバイ、またね。」

私たちはそう言って、前を向いた。再会を誓って、明日へ一歩踏み出した。

この研修で出逢った仲間たちと、共に学び、発言の多様性を知り、語り合った。渡嘉敷島の歴史を耳にしたとき、様々な意見が飛び交った。そこには、少し違う視点からの考え方や、地球規模の捉え方などがあった。どれも新鮮で自分にはないものだった。

野外炊飯にマリン、テント泊。この他にもすべてにおいて、協力することが必要とされ、人との関わりがどれほど大切なものなのか感じられた。

一日一日が目まぐるしく過ぎていく中、私たちが片時も忘れることがなかったのが、「挑戦」することだ。何事にも物怖じせず、限られた時間で求められたこと以上のことをすること。「チャレンジ！」を合言葉に5日間、挑戦し続けた。その時、全員で高く掲げた拳は私たちの結束の表れだ。そして、私たちが伸ばすこの指先は夢を繋げる架け橋となるだろう。

5日間を全力で駆け抜けた私たちは、きっとどんな時も笑顔を忘れることはない。「あの時、もっとこうすれば良かった。」

と、一生後悔しないように、ほんの一瞬、勇気を振り絞るだけでこんなにも無限大の明日が広がるとともに可能性が広がり続けることを肌で実感した。

悲しい思いが優しさを作り、流した涙が強さになる。だから、あのとき感じた寂しさや溢れ出た涙は間違っちゃいないと信じたい。

出逢いに感謝。

いつかまた再会の日まで。



楽しお読書 役立つ読書 ～家庭で読書を楽しもう～

近年はインターネット等様々なメディアの発展、普及により、子供も大人もなかなか読書の時間を確保することが難しいと思います。そのような中で、家庭で工夫して読書に取り組むことは大切になります。

日常生活で本を読もうと思ったとき、いかに取り掛かりやすい状況を作るかということがキーポイントになってきます。少し以前にこのコラムで、「積読」という一つのスタイルを提案させていただきました。「積読」とは、文字通り本を積んでおくことで、こうすることで本が常に見える状況になるため、少し時間が空いたときなどに本を手に取りやすくなります。

また、県PTA連合では、アウトメディアチャレンジを呼び掛けています。アウトメディアとは、我々が普段使っている情報電子機器（テレビ、DVD、ゲーム機、パソコン、携帯電話、スマートフォン等）を使わず、家族で触れ合う時間を作ろうという取組です。メディアに頼らず、家族でコミュニケーションをとり、心の豊かさや上手な時間づくりを養っていこうとするものであり、このアウトメディアチャレンジと読書とはよくなじむものであります。

普段テレビやインターネットに充てている時間を少しでも読書に回したり、家族で共通の本の話をしてみたりすると、豊かな時間やコミュニケーションが生まれると思います。

このように、家庭で読書に親しみやすくする工夫をすることも大切ですが、一方で、読書は自然と楽しむものでもあると考えます。

「本を読まなければならない」と思った瞬間、それが義務のように感じ、本来読書が持っている楽しさを損なう恐れがあります。

子供の頃、続きが気になって夢中で絵本のページをめくった経験がある方もいらっしゃると思いますが、物語に限らずどんな本でも、どっぷりとその世界に入っていくことは読書の楽しみの一つだと思います。

こうして大人である私たちが、読書を楽しむ姿を見せることで、「本を読みなさい」と言わずとも、子供たちも自然と本を読むのではないのでしょうか。

(広島県教育委員会生涯学習課 小笠原拓也)

小・中学校 P T A 広報紙コンクール表彰

賞	P T A 名	広報紙名
優秀賞	東広島市立郷田小学校 P T A	やまびこ
	福山市立霞小学校 P T A	かすみ
	福山市立赤坂小学校 P T A	あかさか
	呉市立呉中央小学校 P T C A	育て！ゆめの木
	尾道市立栗原小学校教育会	栗っこタイムズ
	福山市立東小学校 P T A	ひがし
	尾道市立高西中学校 P T A	鶴羽ヶ丘
	福山市立福山中・高等学校 P T A	あゆみ
	尾道市立栗原中学校 P T A	会報 栗中
	東広島市立河内中学校 P T A	若あゆ
広報委員会 特別賞	尾道市立高須小学校 P T A	たかすっ子
	神石郡神石高原町立神石高原中学校 P T A	ひかりのそのさきへ

応募校数小学校28校・中学校10校から、次のとおり優秀賞、広報委員会特別賞が選出され、全小・中学校 P T A 会長研修会の全体会において表彰されました。



表彰状・感謝状贈呈

- 本年度は広島県 P T A 連合会創立70周年記念にあたり、「70周年記念特別表彰」9人、「70周年表彰（団体の部）」8団体、「70周年表彰（個人の部）」29人の表彰式が行われました。受賞者を代表して元広島県 P T A 連合会会長 山田陸浩様が謝辞を述べられました。
- 平成30年度退任の理事・監事13人、評議員・代議員35人、広島県教育委員会教育長感謝状受賞者2人の延べ50人を代表して、前広島県 P T A 連合会会長 大塚佐知恵様が謝辞を述べられました。

充実の補償で お子様を サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
（加害事故の補償）

インターンシップ（職場体験）
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動など、
校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



団体割引適用で 割安な保険料！

団体割引30%
損害率による割引35%適用
メディカルアシストでお子様の
健康相談を24時間受付

- 学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
- 育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県 P T A 連合会 小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のペネネームです。
この広告は「広島県 P T A 連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
令和元年7月作成 募文No19-TC01858



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL：0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL：082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP